

## 在シドニー総領事通信

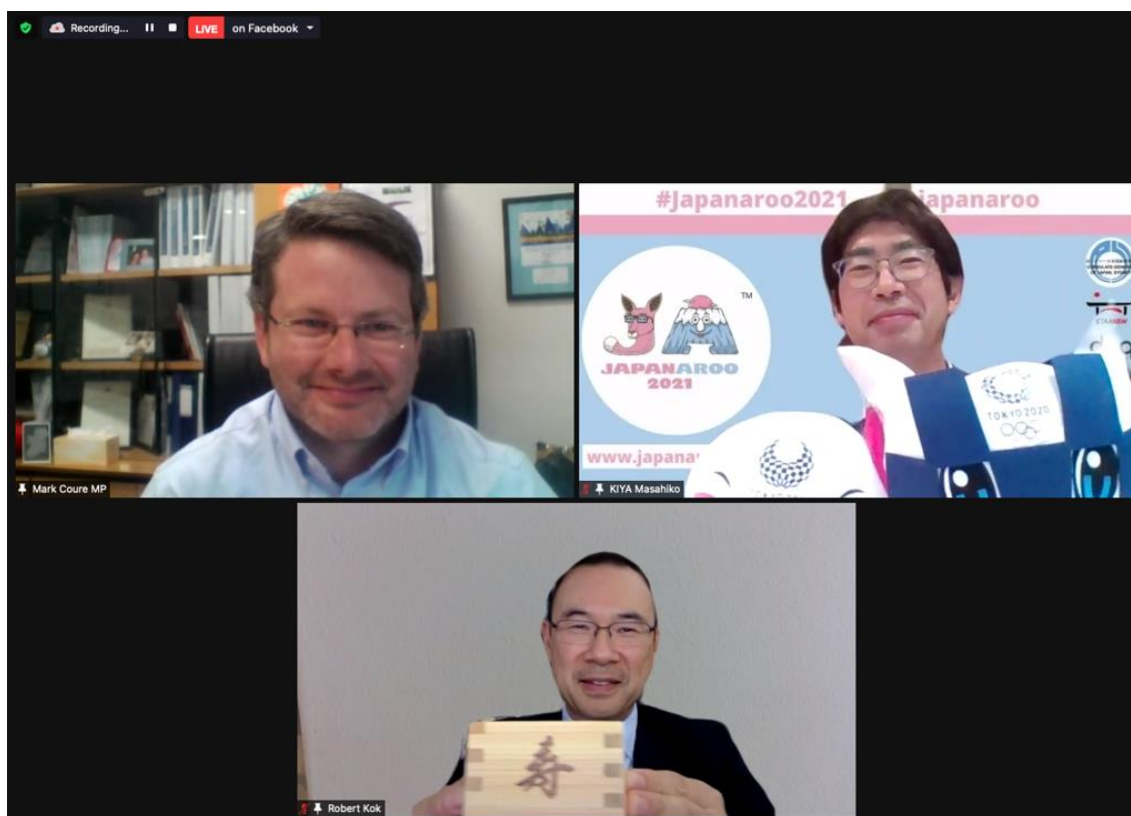
### 第 47 回 ロックダウンをともに乗り越える

令和 3 年（2021 年）8 月 31 日

シドニーのロックダウンは、いつ終わるのでしょうか。8 月 20 日、ベレジクリアン NSW 州首相は恒例の午前 11 時の記者会見で、シドニー大都市圏のロックダウンを 9 月末まで延長すると発表しました。その後もコロナ感染者数は増加して、1 日 1200 件を超える日も出てきました。その一方で、コロナワクチン接種のペースは過去最高を更新しています。

8 月 26 日の NSW 州首相記者会見では、コロナワクチン接種率 70%を達成した段階で、コロナワクチン接種完了者に対して各種の規制緩和を行うとの発表がありました。今のワクチン接種のペースが維持できれば、10 月中旬頃になる由です。翌 27 日の記者会見では、学校の対面学習の再開は 10 月下旬から 11 月上旬になると発表されました。裏を返せば、シドニー大都市圏では、これまでの 2 か月に加えて今後も 2 か月の間、引き続きロックダウンと向き合い、乗り越えていかなければなりません。

ロックダウン下の厳しい状況にある皆様は、毎日をどのように過ごされていますでしょうか。当館では、領事窓口のコロナ対策や領事メールの配信に加え、オンラインの広報・文化活動、コロナワクチンやメンタルヘルス関連情報の発信など、できることに前向きに取り組んでいます。今回の総領事通信では、ロックダウン下の総領事館の活動の一端をご紹介します。今の時期をどのように乗り切っていくべきか、皆様と一緒に考えていきたいと思えます。



Japanaroo Opening Night での開会挨拶後のスクリーンショット  
(2021年8月20日)

## ●Japanaroo 2021 の開始

シドニーの日豪関係団体が中心となって企画した日本文化行事 Japanaroo 2021 は、ロックダウンの中、予定通り8月20日にキックオフしました。

皮切りの行事は、[豪日経済委員会 \(AJBCC\) 主催の山上信吾駐豪州日本国大使のオンライン講演会](#)です。約170名が参加しました。山上大使は講演の中で、日豪間の貿易や投資の歴史を振り返り、観光・人的交流や安全保障を含む幅広い分野で「友情」と「信頼」を実現したと述べました。今後は更に「卓越(excellence)」も実現すべく、コロナ対策、ルールに基づく国際秩序、経済強靱化、脱炭素化での具体的な日豪連携策を提示しました。質疑応答も活発に行われました。

同20日の晩には、[Japanaroo Opening Night](#) が開催されました。約150名の参加を得て、折り紙ワークショップや日本食紹介、日本文化パフォーマンス、パラリンピック応援メッセージ、日豪アーティスト対談など盛りだくさんの内容でした(動画リンクは[こちら](#))。開会挨拶は、シドニー市議会のコック議員、NSW州議会のクーレ下院議員(アジア大洋州議連事務局長)からいただきました。

私からは[開会挨拶](#)で、コロナに直面する今だからこそ、Japanaroo を通じて自ら楽しみ、周りの人に楽しんでもらうことで、私たちの底力を示そう、そして Japanaroo の参加者や行事開催団体が「日豪コミュニティ」の中核となり、豪州とその多文化主義を豊かにする触媒の役割をとともに担っていこう、とのメッセージを伝えました。

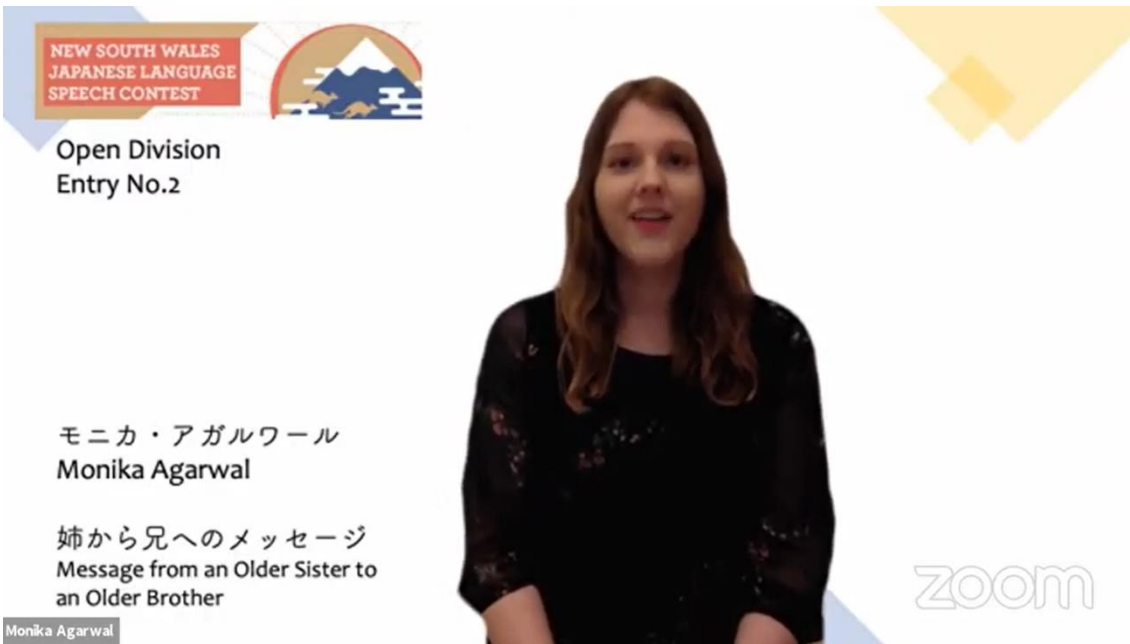


キャンベルタウン・越谷市オンライン中学生交流会  
(2021年8月21日)

### ●中学生ビデオ・オンライン姉妹都市交流

翌日の8月21日には、キャンベルタウンと越谷市の中学生のオンライン交流会が開催されました。両市は [1984年に姉妹都市提携](#)を結び、長年にわたり中学生・青少年の使節団を相互に派遣しています。昨年来、コロナの影響で派遣が困難になったので、今回、オンラインでの交流会が企画されました。

双方の中学生は、厳しいコロナ規制にもかかわらず、お互いに市内の名所を紹介するビデオを製作し、事前に交換しました。そして、当日は約30名の生徒が4つのグループに分かれて、好きな音楽やスポーツ、食べ物などについてやりとりをしていました。相互訪問ができない中でも青少年交流を継続しようとする両市の皆様の熱意に感銘を受けました。



NSW 州日本語スピーチコンテスト  
(2021年8月22日)

●オンラインの日本語スピーチコンテスト

更に翌日の8月22日には、[NSW 州日本語スピーチコンテスト](#)がオンラインで開催されました。昨年はコロナの影響で中止を余儀なくされましたが、本年は是非開催したいということで、早い時点から、対面とオンラインの双方の可能性を想定して準備を進めてきた由です。

今回は、高校生上級、一般初級、一般オープンの3部門で計17名が参加し、幅広いテーマについて日本語で熱弁を奮いました。私自身、日本語スピーチコンテストは初めて聞きましたが、素晴らしいスピーチばかりで驚きました。単に日本語が上手であるのみならず、内容も日本語の方言や男女の役割、生活習慣など自分自身の関心に引き付けたもので、知的好奇心の強さを感じました。よろしければ[動画](#)をご覧ください。私からは[冒頭挨拶](#)で、これからも日本語を学び続け、将来の日豪関係の担い手になってほしいと伝えました。

一般オープン部門の優勝者のモニカ・アガルワールさんの「姉から兄へのメッセージ」([動画](#)の1時間45分頃から)は、家族が大きな困難に直面し、それを自ら乗り越える体験を語る力強い内容で、特に感銘を受けました。運営委員会の皆様におかれては、ロックダウン中にもかかわらず、このような数多くの素晴らしいスピーチを披露する機会を設けていただき、深く感謝申し上げます。



日本のコロナ状況に関するオンラインのシンポジウム  
(2021年8月25日)

●オンラインのシンポジウム

8月25日には、[日本のコロナ状況に関するオンラインのシンポジウム](#)が開催されました。これは、シドニー大学法学部が主催し、オーストラリア国立大学（ANU）豪日研究センター（AJRC）、豪日協会 NSW 支部、豪州日本法ネットワーク（ANJeL）、シドニー大学アジア太平洋法センター（CAPLUS）、豪州日本研究学会（JSAA）が協力する形で企画されたものです。約90名の参加がありました。

当初はシドニー大学を会場にハイブリッド方式で開催される予定でしたが、ロックダウンのためオンラインのみとなりました。それでも、豪州で日本の法律、政治、経済、社会を研究している方々が一堂に会して、現在の最重要課題であるコロナ対応について最新の情報や知見を交換する場が、Japanaroo 2021の機会に設けられたことを大変嬉しく思いました。

シンポジウム終了後、すぐに[動画](#)や[概要](#)がウェブサイトにアップされ、主催・協力団体の強い熱意を感じました。どうもありがとうございました。



カンタス航空の Fly Away キャンペーンのコマーシャル  
(カンタス航空の [YouTube](#) に 2021 年 8 月 23 日掲載)

### ●ワクチン接種の促進と規制緩和の準備

NSW 州はじめ各地でロックダウンが続く中、豪州政府は、ワクチン接種を促進しながらコロナ後の規制緩和に向けて方向転換するよう、訴え始めました。8 月 22 日、[モリソン首相は「症例数から入院数に焦点を移す時」と題した出口戦略に関する「見解」を発表](#)しました。その後の記者会見でも、70%・80%のワクチン接種目標を達成した段階では、ウイルスを怖がりロックダウンを続けるのではなく、規制を緩和してウイルスとともに生きるべきと主張しています。

ベレジクリアン NSW 州首相も、感染者数でなくワクチン接種者数こそが最も大事な数字であり、今からワクチンを接種して、ワクチン接種率 70%達成後の一連の規制緩和に備え始めるべき、と毎日の記者会見で訴えています。

「クリスマスには家族と会って、旅行もできる！」という前向きな報道も出てきました。カンタス航空は、ワクチン接種を登録すればマイレージのポイントや割引券をもらえる [Fly Away というキャンペーン](#)を始め、[YouTube](#) は既に 40 万回再生されるなど大ヒットしています。コロナ後の訪日旅行も期待できますね！

当館も、NSW 州と北部準州 (NT) 在住者用に、[ワクチン関連情報をとりまとめたウェブサイトに掲載](#)しました。ご活用いただければ幸いです。

## 専門機関によるサポート

高い ← 緊急性 → 低い



池谷亜美サイコロジストの[講演資料](#)  
(2021年8月26日)

### ●メンタルヘルス対策

それでも、これから2か月間のロックダウンに耐えるには、メンタルヘルス対策が不可欠です。8月26日に、当館が主催し日本関係団体・留学紹介業者などの参加を得て開催した邦人安全対策連絡協議会では、当地在住の[池谷亜美サイコロジスト](#)に、メンタルヘルス対策の講演をいただきました（講演資料は[こちら](#)）。

講演では、「うつ」になることはごく一般的であり、自分が弱いからと思い悩むべきではないこと、受診するのは10人に1人程度だが、治療効果は70~80%と高いので、早期に受診するのが肝要であること、家庭内暴力もコロナで増加しており、注意すべきことなどのアドバイスがありました。Lifeline AustraliaやDomestic Violence Line、通訳サービスなどの連絡先の紹介もありましたので、ご活用いただければ幸いです。

また、外務省では、日本国内 NPO 団体と連携し、[在外邦人の皆さんが抱える孤独・孤立及びそれに付随する様々な問題に対してきめ細かく対応するための取り組み](#)を開始しました。悩みをお抱えの方々には、日本語によるチャット・SNS相談等を受けることができますので、ご利用ください。主要 SNS (LINE、Twitter、Facebook) およびウェブチャットから、年齢・性別を問わず相談に応じています。

## マーガレット・ビーズリーNSW州総督からのメッセージ

「新型コロナウイルスの大流行は、おそらくそれぞれ異なる形ではありますが、私たち全ての人々に影響を及ぼしています。」



### ビーズリーNSW州総督からのメッセージ

([日本語訳](#) : 2021年8月27日)

#### ●感謝といたわりの心を持つこと

このような中で、ビーズリーNSW州総督から在シドニー領事団に対し、新型コロナウイルスの影響を受けている多文化コミュニティに向けて、感謝といたわりのメッセージを伝えてほしいとの連絡がありました。[総督からのメッセージを当館にて日本語に翻訳](#)しましたので、ご覧いただければ幸いです。

総督はメッセージの中で、NSW州は多文化コミュニティの活気と力強さを有する州として知られ、州内在住者の約28%が海外生まれで、州内では215の言語が話され、146の宗教が信仰されていると紹介しています。そして、これらの数字は多様な文化が織りなす豊かな姿を反映しており、それが一体となることで、私たちが誇る力強く豊かなコミュニティが創り上げられているとの認識を述べています。そして、ワクチン接種をはじめ様々な取組に感謝し、お互い助け合っしてほしいとの気持ちを伝えています。



シドニー、NSW州、そして豪州各地がロックダウンをともに乗り越えていく中で、当地の日本人社会もその一員です。当地の日本人社会が、このような多文化社会の中で感謝といたわりの心を持ってお互い助け合いながら、これから2か月の厳しい期間を乗り切ることができるよう、当館として最大限努力していく所存です。困ったことやお気づきの点がありましたら、いつでも当館にご連絡ください。

在シドニー日本国総領事 紀谷昌彦

(以上)